

エコ・フェア宣言イベント in 関西

原発を止め、エネルギー自給できる自治体のつくり方

環境エネルギー政策研究所[ISEP]所長の飯田哲也さんをゲストに

自治体が脱原発と温暖化対策を両立しながら、エネルギー自給を達成する方策を聞き、

エコでフェアな自治体議員・市民は何ができるか？についてワークショップ形式で話し合います。



環境エネルギー政策研究所
所長 飯田哲也

プロフィール

環境エネルギー政策研究所(ISEP)所長。ルンド大学(スウェーデン)客員研究員。1959年山口県生まれ。自然エネルギーや原子力などの環境エネルギー政策専門家。『21世紀のための再生可能エネルギー政策ネットワークREN21』理事など国際ネットワークも豊富。温暖化ファンドやグリーン電力などを生み出すなど、社会イノベーターとしても知られる。中央環境審議会、東京都環境審議会などを歴任、2009年11月には、新政権の25%削減タスクフォース有識者委員、および行政刷新会議ワーキンググループの事業仕分け人に任命された。著書に「北欧のエネルギーデモクラシー」(新評論)、「グリーン・ニューディールー環境投資は世界経済を救えるか」(NHK出版)、「日本版グリーン革命で経済・雇用を立て直す」(洋泉社新書)など。

【日時】2011年5月28日(土) 14:00-16:30 (13:30開場)

【会場】大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル6階 第2研修室)

【対象】自治体の脱原発、エネルギー自立に関心のある方

【参加費】1500円 (エコフェア宣言賛同者は1000円)

【申込】氏名、エコフェア宣言賛同者であるか否か、

E-mailアドレスをご記入のうえ、
<件名>を「5/28 エコフェア関西イベント」として
greens@greens.gr.jp までご送信ください。

※当日参加も可能ですが、満席の場合は申込をされている方を優先させていただきます。



【主催】1000人のエコフェア宣言プロジェクト <http://eco-fair.jp/>

みどりの未来 <http://www.greens.gr.jp/>